

「JENESYS2024」日本大学生訪中団フォローアップ（合宿交流）の記録

1. プログラム概要

【目的】本事業は、2024 年 7 月及び 11 月に訪中した日本大学生へのフォローアップ事業として、現地で交流した中国大学生が中国大学生訪日団として来日したのにあわせ、1 泊 2 日の合宿交流を行い、日中両国の若者が相互理解を深め、草の根交流を更に促進することを目的として実施しました。

【参加者】計 66 名（日本大学生訪中団参加者 39 名 中国大学生訪日団参加者 27 名）

【訪問地】東京都、埼玉県

【日程】

■ 2025 年 3 月 6 日（木）～ 3 月 7 日（金）1 泊 2 日

日にち	概要
1 日目 3 月 6 日	【合宿交流】 中国大学生訪日団参加者との合宿交流 ① 概要・日程・課題説明 ② アイスブレイク ・グループごとに自己紹介 ・リーダー等の役割決め 等 埼玉県（長瀬町）へ移動 ① 日本文化体験（うどん打ち） ② 長瀬散策
2 日目 3 月 7 日	【合宿交流】 中国大学生訪日団参加者との合宿交流 ① 日程説明・課題決め ② グループワーク① （グループごとに、課題についてディスカッション） ③ グループワーク② （・課題ごとに分かれ、各グループのディスカッション内容を紹介 ・ディスカッション内容をまとめ、発表資料・原稿の作成） 東京へ移動 【合宿交流成果発表】 ① 来賓紹介 ② 主催者挨拶 ③ 合宿交流の課題についての成果発表 ④ 講評

2. 記録写真



日本文化体験(うどん打ち)



グループワーク
(課題についてのディスカッション)



グループワーク
(課題についてのディスカッション)



グループワーク
(ディスカッションの内容発表)



合宿交流成果発表



合宿交流成果発表

3. 参加者の感想（抜粋）

◆日本語、中国語、英語、翻訳機等、相互理解のために使えるものは全て使って全身全霊で交流に向き合う姿勢が日中双方にありました。また2日間通して行う密な交流ということもあり、自然と友情関係が生まれることは然ることながら、無知故にマナーや礼節を欠きたくないというあらゆる場面で私達を頼ってくれました。「人に頼る」という行為を甘えと評する人が世間には一定数いますが、私達は頼られる毎に信頼関係の芽生えを感じました。

◆今回の合宿では、中国の方と共に長い時間を過ごせたことで、さまざまな話をすることができました。そこでは、教科書に載っていない若者言葉や、言語習得までの勉強方法、中国人と日本人の味覚の違いを知ったりなど、様々な観点から新たな気づきを得ることができました。2日目のディスカッションでは、中国の就職状況・職場環境・仕事や学歴に関する考え方など、社会情勢のみならず価値観も知ることができました。また、中国の方が日本(人)に対して抱く疑問を知ったことで、日本人としての当たり前は当たり前ではないこと、その上、日本のことをもっと学ばなければならないという気づきも得ることができました。

◆今回の交流合宿では中国の友達をたくさん作ることができたことが大きな収穫でした。合宿後もSNSでメッセージのやり取りをしており、仲良くなれてとても嬉しいので参加して良かったと感じています。今回の合宿を通して日本の文化を教えるなかで、意外なところで当たりの価値観が異なっているということが多く、自身の文化では当然のことで、理由や背景を知らずに疑いもせずに持っている価値観に気づきました。逆に中国の学生の行動に注意してみると、彼らにとって全く悪意のない行動や当たりのことが日本では非常識であると言われることがあり、このようなことが原因で互いの国の印象・認識にずれ違いが起きているのではないかと気づきました。在日の中国人のマナーがよくなければ、非常識だと決めつけるのではなく、日本の文化を教えることが大切だと学びました。

4. 参加者の対外発信（抜粋）、報道記事



♡ 14 💬 📌

いいね [redacted]

[redacted] 2025.3.6 ~ 2025.3.7

日本大学生訪中国フォローアップ合宿交流 🇯🇵 🇨🇳

この2日間、中国の学生たちは私にたくさんの幸せをくれました。

私はみんなに素敵な思い出を残すことができたでしょうか？
日本を楽しんでくれていたら嬉しいです。
もしみんながまた日本に来るなら、連れていきたい名所や食べてほしいグルメがたくさんあります！
みんなのことを想っています 🍡

这两天中国の学生们给我很多幸福了。
我是否给你们留下了美好的回忆？
我希望你们充分享受了日本。
如果你们再来日本，我想带你们去很多名胜，吃很多美食！
我想你们 🍡



実施団体：（公財）日中友好会館